

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。令和元年度においては、農畜産物の需給動向の判断や経営の安定に資する情報等の収集及び提供に当たり、我が国の農畜産業がTPP11協定等を契機として新たな国際環境に入ったことも踏まえ、その的確な実施を図るため、調査テーマの重点化等業務の合理化を進めつつ、国内外の需給等関連情報の収集及び需給に影響を与える要因に関する調査並びにその提供等について実施した。

また、国民消費生活の安定に寄与するよう、農畜産物に関する知識の普及等、消費者の関心の高い情報を積極的に提供した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告及び優良事例等の調査等を基本に、国際会議等への参加による情報収集に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

月報「畜産の情報」、「野菜情報」及び「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供とともに、別冊統計資料（畜産、野菜、砂糖類・でん粉）を年1回発行した。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に加えて、年報「畜産」、「国際情報コーナー」、「国内統計資料」及び「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンの利用者に対し、各情報誌の発行情報、海外情報、需給関連情報、a l i cセミナーの開催案内などを定期的に配信した。

(4) a l i cセミナーなどによる提供

本部におけるa l i cセミナーや地方事務所における地域情報交換会などにおいて、生産、流通、消費、制度などに関する情報のほか、海外現地調査に関する情報等について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・自律的な酪農課が創設し、合併農協が支えたTMRセンター～「有限会社アグリサポートばろう」を事例に～
- ・和子牛産地の課題と若手経営者の規模拡大～沖縄県多良間村の事例～
- ・女性活躍を中心とした働きやすい職場環境づくり～有限会社旭養鶏舎での取り組みを事例に～

- ・放牧を活用したゆとりある酪農経営
～酪農業におけるワークライフバランス～
- ・肉用牛へのエコフィードの利用に向けた取り組みと連携
～和歌山県のエコマネジメント株式会社が製造するエコフィードを事例として～
- ・酪農業協同組合による経営継承支援の取り組みと課題
～浜名酪農業協同組合の「支援事業」を事例として～
- ・「Natural Beef」と形容されるウルグアイ産牛肉の特徴と対日輸出見通し
- ・米国における食肉代替食品市場の現状
- ・EUにおける有機（オーガニック）農業の現状～高まる有機志向～
- ・オランダ酪農乳業の現状と持続可能性（サステナビリティ）への取り組み
～EU最大の乳製品輸出国の動向～
- ・豪州肉用牛産業界における環境対策について～持続可能性の確保に向けて～

（２）野菜

- ・フードバンク活動の拡大と生鮮食品・野菜の取り扱いの現状
- ・斜里町農業協同組合におけるにんじん輸出の取り組みと課題
- ・中山間水田地帯における白ねぎ導入による野菜産地形成
～広島県内のJA連携を事例として～
- ・八百屋という強みを生かし、地域で営む子供食堂
～「気まぐれ八百屋だんだん」を事例に～
- ・冷凍野菜事業者をめぐる情勢
～国産冷凍野菜の生産・消費拡大に向けて～
- ・スマート農業の導入による野菜生産力増強の課題
～宮崎県におけるピーマンとほうれんそうの事例から～
- ・カナダのトマト生産・流通および日本への輸出動向
- ・EUにおける野菜の地理的表示（GI）の活用について
- ・中国におけるたまねぎ、しょうがの生産および輸出動向
- ・食農ラベリング制度を活用したイタリア産トマトの新たな挑戦
～SDGs時代への対応～

（３）砂糖

- ・自動操舵システムを活用した作業受託の取り組み
～農業生産法人アグリサポート南大東株式会社～
- ・労働力確保のためのJA連携の取り組み
- ・沖縄本島南部における作業受託の若き担い手
「農業生産法人有限会社大農ファーム」の取り組み
- ・生育情報を利用した可変施肥によるてん菜およびでん粉原料用ばれいしょの増収効果
- ・苦難が続くメキシコの砂糖産業～対米通商交渉を中心に～
- ・中国のあんこをめぐる動向

(4) でん粉

- ・鹿児島県におけるかんしょ栽培の機械化の現状と課題について
- ・ばれいしょ畑の土壌酸性管理のためのpH (KCI) 簡易測定法
- ・サツマイモに甚大な被害を与える侵入病害「基腐病」の超高感度・簡易・迅速診断
- ・EUのでん粉生産の状況
～ばれいしょでん粉を中心に～
- ・カンボジアのでん粉生産の状況

4 広報活動

(1) 消費者代表との意見交換会

中期計画において、「消費者等への情報の提供については、国民消費生活の安定に寄与するとともに機構の業務運営に対する国民の理解を深める観点から、消費者等の関心の高い農畜産物や機構の業務に関連した情報を積極的に分かりやすい形で発信するため、消費者等との意見交換会等を通じた双方向・同時的な情報や意見の交換を行うことにより、農畜産物や機構業務に関する消費者等の理解の促進を図る」とされていることを踏まえ、以下のとおり消費者代表との意見交換会を実施した。

開催日	分野	内容等
令和元年9月10日(火)	砂糖	砂糖の正しい知識の普及の取組み「ありが糖運動」に参画している和菓子製造企業を訪問し意見交換を行うことにより、砂糖を使用した和菓子の製造技術や品質及び砂糖価格調整制度等への理解の促進を図るため、現地意見交換会を静岡県で開催。〔株虎屋 御殿場工場〕

(2) 広報誌の発行、「消費の道しるべ」への記事掲載及びセミナーの開催

機構の各業務や業務を通じて得られた様々な情報について、広報活動をはじめとした様々な手段・方法で広く発信し、国民の皆様にご覧いただけるよう、広報誌「alic」を発行(隔月)するとともに、セミナーを開催した。

また、一般財団法人消費科学センターが発行する「消費の道しるべ」に、消費者の関心が高いと考えられる事項についての記事を掲載した。

ア 広報誌「alic」の発行

発行月	主な掲載内容
5月	<ul style="list-style-type: none">・わが国の畜産物を家畜改良と実践技術から支える～独立行政法人家畜改良センター理事長 入江正和氏～・JGAP 団体認証を取得！安全・安心の実証を求めて～ JA ふくしま未来～・第31回国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 東京
7月	<ul style="list-style-type: none">・豊かな自然から生まれた蔵王チーズの魅力 チーズは乳製品の王様～一般財団法人蔵王酪農センター理事長 富士重夫氏～・クリームトップの熟成式ヨーグルトで夢をつかんだ～オオヤブデイリーファーム～・機構の業務運営に対する国民の理解を深めるためのコンテンツ「alicの業務はすべての人のために」の紹介

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの削減にも寄与するフードバンクの展開～フードバンクふじのくに理事長 池富 彰氏～ ・UFO すいか！？～(有)ベジタブルセンター UFO (ユウフォー) を訪ねて～ ・島のサトウキビ生産のバトンを繋いでいくために～沖縄県久米島町サトウキビ生産者與那嶺さんと有限会社球美開発の奮闘～
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・食とどう向き合うか～消費者団体の視点から～一般財団法人全国消費者団体連絡会事務局長 浦郷 由季氏～ ・農場 HACCP で安全を確保し、より高品質の和牛を生産～(有)中林牧場～ ・消費者代表の方々との意見交換会を開催
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のごあいさつ 独立行政法人農畜産業振興機構 理事長 佐藤 一雄 ・島の未来のために ～久米島の肉用子牛生産を支える人～ ・日本一の酪農地帯を支えるプロ集団～(株)ASAHI サポートセンターを訪ねて～
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品から考える食の未来 ～ベフロティ株式会社 代表取締役社長 西川剛史氏～ ・ハラル認証を受けたてん菜糖～日本甜菜製糖株式会社の取り組み～ ・加工・業務用野菜の国内生産をサポート～野菜振興部助成業務課～

イ セミナーの開催

実施月	主なテーマ
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「韓国のパプリカの生産、流通および日本への輸出動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部（現企画調整部システム調整課）青沼悠平 ・「ニュージーランドの牛肉生産・輸出動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 大塚 健太郎
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・「冷凍食品のメリットと最新トレンド」 (有)冷凍食品エフエフプレス 編集長山本 純子氏
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国のあんこをめぐる動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 坂上 大樹 ・「タイにおける砂糖産業の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 塩原 百合子
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国における酪農・乳製品生産の現状と今後の需給見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 寺西 梨衣 ・「タイにおける酪農・乳製品生産の現状と今後の需給見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 小林 智也 ・「ウルグアイ産牛肉の特徴と対日輸出見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 石井 清栄 ・「EU酪農・乳業の現状と展望」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 前田 絵梨
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・「米国の肉用牛・牛肉産業における持続可能性（サステナビリティ）～持続可能な牛肉のための円卓会議（USRSB）における取組状況～」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 藤原 琢也 ・「オランダ養豚における家畜排せつ物処理の取り組み～持続可能な養豚のために～」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 前田 絵梨 ・「豪州肉用牛産業における環境対策～持続可能性の確保に向けて～」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 井田 俊二 ・「韓国の家畜排せつ物処理の実態」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 小林 智也

ウ 「消費の道しるべ」への掲載

掲載月	掲載内容
7月	「alicの業務はすべての人のために」～業務説明コンテンツのご紹介～ (企画調整部)
8月	「野菜の価格とalic業務の役割」(野菜振興部)
9月	「国産チーズを食べてみませんか?」(酪農乳業部)
10月	「国産牛肉や豚肉の安定供給をめざした経営支援について」(畜産経営対策部)
11月	「かんしょでん粉について」(特産業務部)
12月	「農場 HACCP 取得により安全・安心な和牛を～(有)中林牧場～」(畜産振興部)
1月	「野菜価格安定制度のご紹介」(野菜業務部)
2月	「金平糖とボンボニエール」(特産調整部)
3月	「農畜産物のこと、もっと知ってみませんか?～広報誌のご案内～」 (企画調整部)

(3) フェイスブックを通じた情報の提供

機構の業務活動について広く消費者等の理解を得るとともに、機構の認知度を向上させるツールとして、フェイスブックにより農畜産業に関するイベント開催の周知及び報告、農畜産業に関する豆知識及び野菜を使用したレシピ等126回の情報発信を行った。

(4) ホームページバナー広告の掲載

農畜産業及びその関連産業の発展に資するため、これらの業種に携わる事業者又はその構成する団体がホームページにバナー広告を掲載する機会を新たに提供し、令和元年度は3者の広告主を得た。